

Welby Lunch Session **10th**

がん患者さん向けPHR：いま、これから、そしてその先へ — 実臨床におけるPHRモニタリングとレジストリ研究が示す未来 —



演者

銭谷 聖子

株式会社Welby

マーケティング部マネージャー
オンコロジー・疫学研究担当

国立がん研究センター中央病院
呼吸器内科 外来研究員

データ駆動型社会が実現されつつある今、ライフログデータとしての“PHR (Personal Health Record)”は、これからの社会・医療課題の解決に欠かすことができません。一方、プラットフォームとしての“PHR”は、ライフログデータのみならず医療データやマイナポータルデータ等を含む生活者個人の医療ヘルスケアデータ統合プラットフォームの役割を果たし、これからのデータポータビリティ社会において、どれほど重要な存在となるか…容易に想像できるでしょう。

本年度、全11回で月次開催する「Welby Lunch Session」では、データポータビリティ社会の実現に向け、医療・ヘルスケア領域における豊富な知見と実績を持つプロフェッショナルをお招きし、PHRデータ流通のビジネスへの応用に関する法令の解説や、安全なデータ流通のための新技術、さらに具体的なソリューションや事例を示しながら、医療DXの先にある社会と生活者の姿についての展望を皆様にお届けします。

今回は、がん領域のPHRサービス「WelbyマイカルテONC」を用いたモニタリングを実臨床で導入している施設の実際、各施設からの学会発表に見るPHR導入の効果、そして2024年4月から開始しているレジストリ研究の紹介と、がん診療におけるPHRモニタリングが今後どのように広まっていくのか、その展望をお話します。

日時

2024年 11月 27日 (水)
12:05 ~ 12:55

場所

ZOOM開催

参加費

無料

※申込締切：2024年 11月 26日 (火) 17:00まで

お申込みは **下記の二次元コード** を
クリック または **読み取り** ください

